

第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

第1節 文化財の指定と調査・保護

1 指定文化財

県内の国及び県指定の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 平成18年度末文化財指定件数

区分	国	県	登録文化財	区分	国	県	登録文化財
建造物	19	37	62	無形民俗文化財	7	42	
彫刻	8	26		有形民俗文化財	0	4	
絵画・書跡典籍	7	32		史跡	34	15	
工芸品	11	22		名勝	4	2	
古文書・考古資料	9	6		史跡及び名勝	1	0	
歴史資料	2	11	1	天然記念物	27	29	
無形文化財	1	3		計	130	229	63

2 文化財の調査・保護

(1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

ア 保護体制の整備

文化財保護体制の基礎は市町村にあるとの認識のもとに、市町村の体制の充実を図るため、次のような事業を実施した。

市町村文化財担当者会議・研修会

平成18年5月25日

場所 東北歴史博物館

参加者 7教育事務所・36市町村文化財担当者

イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人(仙台市：4人、大崎市：7人、加美町：3人、栗原市：10人、登米市：9人、気仙沼市2人、石巻市7人、南三陸町2人)委嘱し、国指定の重要文化財(建造物)、史跡、名勝、天然記念物及び主なる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施し、関連して以下の研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

(ア) 宮城県文化財保護地区指導員会議

平成18年5月25日

場所 東北歴史博物館

参加者 7教育事務所・36市町村文化財担当者・72文化財保護地区指導員

(イ) 市町村文化財担当者及び文化財保護地区指導員研修講座

月 日 平成18年10月26日

会場 東北歴史博物館

研修内容

「民俗文化財の保護と活用」

講師 技術主幹 笠原 信男

東北歴史博物館展示見学

参加者 市町村教育委員会文化財担当者39名・文化財保護地区指導員・文化財保護委員75名

ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

エ 発掘調査

(ア) H18年度：埋蔵文化財発掘届等の件数

(第8-2表参照)

調査のための発掘届(法92条第1項)	8件
土木工事に伴う届(法93条第1項)	785件
土木工事に伴う通知(法94条第1項)	225件
遺跡発見の届(法96条第1項)	0件
遺跡発見の通知(法97条第1項)	10件

教育委員会の発掘調査(法99条第1項) 268件

合計 1,296件

(イ) 国庫補助事業による詳細分布調査(県教委が主体もしくはは担当した調査)(第8-3表参照)

(ウ) 受託事業による調査(第8-3表参照)

(エ) 執行委任事業による調査(第8-3表参照)

(オ) その他の調査(第8-3表参照)

第8-2表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市町村名	92	93	94	96	97	99	計
1	仙台市	4	365	51		2	94	516
大河原教育事務所								
2	白石市	1	36	14			7	58
3	角田市		4	4			9	17
4	七ヶ宿町			1				1
5	蔵王町		8	3		1	10	22
6	大河原町		1	3				4
7	村田町	1		2		1	4	8
8	柴田町		1	6				7
9	川崎町		1	1				2
10	丸森町		7	4			7	18
	計	2	58	38	0	2	37	137
仙台教育事務所								
11	塩竈市		1					1
12	名取市		72	5			18	95
13	亘理町		6	6			5	17
14	山元町		2			1	1	4
15	岩沼市	1	11	4		1	5	22
16	松島町		5	1				6
17	多賀城市		100	11			20	131
18	七ヶ浜町							0
19	利府町		11	4			4	19
20	大和町		10	7			10	27
21	大郷町		1					1
22	富谷町		5	2			1	8
23	大衡村		1	7				8
	計	1	225	47	0	2	64	339
大崎教育事務所								
24	大崎市		43	12			25	80
25	加美町		8	15		1	16	40
26	色麻町		2	1				3
27	涌谷町		2			1	1	4
28	美里町		14	9			9	32
	計	0	69	37	0	2	51	159
栗原教育事務所								
29	栗原市	1	44	22		1	12	80
	計	1	44	22	0	1	12	80
登米教育事務所								
30	登米市		5	12		1		18
	計	0	5	12	0	1	0	18

No.	市 町 村 名	92	93	94	96	97	99	計
石巻教育事務所								
31	石 巻 市		9	12			7	28
32	東 松 島 市		9	3			3	15
33	女 川 町		1					1
	計	0	19	15	0	0	10	44
南三陸教育事務所								
34	気 仙 沼 市			2				2
35	南 三 陸 町							0
36	本 吉 町			1				1
	計	0	0	3	0	0	0	3
	合計	8	785	225	0	10	268	1,296

第8 - 3表

発掘調査遺跡一覧

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積㎡	調査期間	主な発見遺構など
受託契約による調査								
1	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	布目遺跡	登米市	発掘調査	2,000	4月24日～6月16日 11月6日～11月17日	調査担当, 井戸跡7基, 土壌7基, Tピット5基, 縄文時代・古代の遺物包含層など, 縄文土器, 土師器, 須恵器, 木製品など。
2	仙台北部道路建設	国土交通省東北地方整備局	菅ノ沢遺跡	富谷町	発掘調査	650	7月3日～7月27日 11月17日	調査担当, 中世～近世頃の道路跡, 陶磁器, 縄文土器, 石器など。
3	国道4号富谷大和拡幅事業	国土交通省東北地方整備局	旧大衛役場前遺跡	大衛村	発掘調査	1,600	8月21日～10月17日	調査担当, 古代の竪穴状遺構1基, 土壌1基, 掘立柱建物跡1棟, 古代以降の井戸跡1基, 中・近世以降の溝跡, ピット多数, 土師器, 須恵器, 鉄製品, 陶磁器など。
執行委任による調査								
1	県道泉塩電線改良工事	仙台土木事務所	市川橋遺跡	多賀城市	発掘調査	3,000	5月15日～12月27日	調査担当, 弥生時代の遺物包含層, 古墳時代の溝跡, 奈良時代の区画溝跡, 材木堀跡, 平安時代の道路跡と道路交差点, 土器埋設遺構, 掘立柱建物跡, 井戸跡, 溝跡, 土壌, ピット, 古代～中世以降の河川跡・井戸跡など, 弥生土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 緑釉陶器, 白磁, 石鏃, 石包丁, 石帯, 動物遺存体など。
国庫補助による調査								
1	重要遺跡確認調査	宮城県教育委員会	早風遺跡	加美町	確認調査	63	5月15日～6月13日	調査担当, 古代の土塁跡2条, 堀跡2条, 竪穴住居跡3軒, 古代の須恵器, 土師器, など。
2	重要遺跡確認調査	宮城県教育委員会	田川八幡館跡	加美町	確認調査	29	11月27日～12月7日	調査担当, 館に伴う可能性のある土塁跡2条, 堀跡1条, 縄文土器, 弥生土器, 石器。
その他の調査(市町村協力及び調査担当)								
1	携帯電話無線基地局	株式会社ボーダフォン	牛飼遺跡	美里町	確認調査	50	4月11日～4月13日	調査協力, 古代の掘立柱建物跡1棟, 中世以降の掘立柱建物跡4棟, 溝跡1条, ピット, 土師器, 須恵器。
2	町道改良工事	亘理町	臥牛城跡	亘理町	発掘調査	300	4月17日～4月19日	調査協力, 古代の竪穴状遺構2基, 土壌2基, ピット, 時期不明の溝跡1条, ピット, 土師器, 須恵器。
3	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	壇の越遺跡	加美町	発掘調査	12,166	5月8日～11月21日	調査協力, 古代の八脚門, 道路跡, 材木堀跡, 溝跡, 掘立柱建物跡, 竪穴住居跡, 井戸跡, 畑跡, 土壌, ピット, 河川跡, 土師器, 須恵器, 瓦, 木簡, など。
4	村道改良工事	仙台北土木事務所	平林遺跡	大衛村	確認調査	243	5月9日・8月24日	調査担当, 古代の竪穴住居跡1軒, 時期不明の溝跡, 井戸跡, 土壌, ピット, 土師器, 須恵器。
5	町道改良工事	加美町	薬菜原No.15遺跡	加美町	発掘調査	900	5月29日～6月2日	調査協力, 後期旧石器時代の石器9点, 縄文時代の陥し穴1基
6	県営ほ場整備事業	大河原地方振興事務所	六角遺跡	蔵王町	発掘調査 確認調査	20,000	5月15日～9月1日 11月6日～11月16日	調査協力, 縄文時代の陥し穴, 古墳・奈良時代の竪穴住居跡, 古代～中世の大溝による区画, 掘立柱建物跡, 縄文土器, 土師器, 須恵器, 石器, 石製品, 金属製品など。
7	個人住宅	個人	三ヶ森遺跡	富谷町	確認調査	73	5月16日・17日	調査担当, 古代の掘立柱建物跡1棟, 時期不明の掘立柱建物跡1棟, 土師器, 須恵器, 鉄製品。
8	小学校体育館改築工事	七ヶ宿町	湯原館跡	七ヶ宿町	確認調査	30	5月29日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。
9	町道改良工事	美里町	一本柳遺跡	美里町	発掘調査		6月1日～9月22日	調査協力, 古代の竪穴住居跡2軒, 掘立柱建物跡1棟, 溝跡, 土壌など, 中世の掘立柱建物跡1棟, 井戸跡, 土壌, 溝跡など。土師器, 須恵器, 中世陶器, 木製品など
10	コンビニエンスストア建設	個人	西の浜貝塚	松島町	確認調査	8	6月5日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。
11	共同住宅建設	個人	袖野田遺跡	塩竈市	確認調査	36	6月6日	調査協力, 古代の遺物包含層, 時期不明のピット, 土師器, 須恵器
12	共同住宅建設	個人	袖野田遺跡	塩竈市	発掘調査	5	6月12日	調査協力, 古代の遺物包含層
13	広域農道改良事業	大河原土木事務所	鍛冶沢遺跡	蔵王町	確認調査	170	6月28日～7月6日	調査協力, 縄文時代の竪穴住居跡6軒, 土壌8基, 溝跡, 縄文土器, 石器など。
14	個人住宅	個人	谷陽院遺跡	美里町	確認調査	12	7月11日	調査協力, 遺構・遺物の発見なし。
15	町道改良工事	大河原土木事務所	和尚堂遺跡	白石市	確認調査	1,182	8月3日～9月28日	調査協力, 弥生時代・古墳時代の遺物包含層, 弥生土器, 土師器, 須恵器, 菅玉, 石包丁など。

16	電力鉄塔建設	東北電力	三玉城跡	栗原市	発掘調査	1,000	8月1日~10月3日	調査協力, 中世の連郭式城館跡。曲輪とその西側に二重の土塁、堀切、曲輪の南側に一段低い平場、縄文土器・土師器・須恵器・鉄製品・石製品など。
17	自然崩落	村田町	小沢口古墳	村田町	発掘調査	8	7月18・20日	調査協力, 箱式石棺1基。刀子、土師器など。
18	携帯電話無線基地局	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北	駒米遺跡	美里町	確認調査	19	8月23日	調査協力, 土師器。遺構の発見なし。
19	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	成田遺跡	美里町	発掘調査	2,794	8月28日~11月21日	調査協力, 古墳時代の遺物包含層、溝跡など、中世の溝跡など。土師器、土玉、中世陶器など。
20	学術調査	亶理町	史跡三十三間堂官衛遺跡	亶理町	確認調査	500	9月6日~11月16日	調査協力, 古代亶理郡衛政庁跡の調査。南地区倉庫院の区画施設と礎石建物跡を調査。土師器、須恵器、鉄鏃など。
21	町道改良工事	富谷町	奈良木沢遺跡	富谷町	確認調査	10	9月5日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。
22	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	南小林遺跡	大崎市	発掘調査	3,909	10月16日~11月15日	調査協力, 8世紀初頭の区画施設。奈良時代の材木堀跡、溝跡、河川跡、総柱建物跡、掘立柱建物跡、竪穴住居跡、土壇、ピット、中近世の堀跡、土壇など、土師器、須恵器、石器。
23	町道改良工事	美里町	化粧坂遺跡	美里町	発掘調査	156	10月30日~11月7日	調査協力, 古代の竪穴住居跡2軒、溝跡1条、時期不明の溝跡1条、ピットなど、土師器、須恵器。
24	県営ほ場整備事業	栗原地方振興事務所	下富前遺跡	栗原市	確認調査	1,350	10月30日~11月24日	調査担当, 古代の材木列、土器埋設土壇1基、時期不明の井戸跡3基、溝跡、ピット、土師器、須恵器など。
25	遺跡復旧	本吉町	町頭塚	本吉町	確認調査	4	10月30日・11月1日	調査担当, 経筒3口
26	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	矢根八幡遺跡	大崎市	確認調査	1,404	11月8日~11月28日	調査協力, 近世以降の掘立柱建物跡1棟、溝跡、土壇、ピット多数、縄文土器、陶磁器。
27	学術調査	栗原市	史跡伊治城跡	栗原市	確認調査	290	11月15日~12月22日	調査協力, 古代の城柵跡。外郭南辺区画施設の調査。築地堀跡、土取り溝跡、門跡、掘立柱建物跡、土師器、須恵器など。
28	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	小沼遺跡	美里町	確認調査	1,544	12月4日~13日	調査協力, 古代の溝跡2条、時期不明の竪穴住居跡1軒、井戸跡3基、土壇3基、中世以降の水田跡、土師器、須恵器、中世陶器など。
29	国道4号線築館バイパス	国土交通省東北地方整備局	下萩沢遺跡	栗原市	確認調査	100	12月7・11日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。
30	町道改良工事	亶理町	椿貝塚	亶理町	確認調査	63	11月13・14日	調査協力, 縄文時代後期~晩期の遺物包含層、縄文土器、石器
31	町道改良工事	亶理町	平場遺跡	亶理町	確認調査	30	11月21日	調査協力, 遺構・遺物の発見なし。
32	公園整備事業	大衡村	大衡城跡	大衡村	確認調査	15	1月10日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。
33	校舎増設	宮城県	鹿野東遺跡	名取市	確認調査	65	3月6日	調査担当, 遺構・遺物の発見なし。

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2007 (平成19年3月)	宮城県文化財調査報告書第209集「市川橋遺跡の調査」
2007 (平成19年3月)	宮城県文化財調査報告書第210集「太田窯跡」
2007 (平成19年3月)	宮城県文化財調査報告書第211集「東北地方整備局関連遺跡発掘調査報告書」
2007 (平成19年3月)	宮城県文化財調査報告書第212集「下富前遺跡」
2007 (平成19年3月)	宮城県文化財調査報告書第213集「早風遺跡ほか」

(2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-4表参照)

イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-5表参照)

ウ 文化財の公開

文化財の公開は文化財の活用の中で重要な事業として関係機関の協力を得て行った。(第8-6表参照)

エ 第48回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

平成18年10月22日(日)にむつ市下北文化会館を会場に青森県教育委員会主催のもと開催され、本県からは仙台市太白区の「生出森八幡神楽(生出森八幡神楽保存会)」が出演した。

第8-4表

史跡・名勝等の現状変更件数

種 別	名 称	年 度					
		13	14	15	16	17	18
特 別 名 勝	松 島	144	137	131	118	88	88
特 別 史 跡	多賀城跡附寺跡	11	12	10	9	9	10
そ の 他		16	24	21	35	42	18
計		171	173	162	162	139	116

第8-5表

銃砲刀剣類の登録件数

種 類	た ち	刀	わきざし	短 刀	剣	や り	なぎなた	その他	火なわ式銃砲	管打式銃砲	ピン打式銃砲	計
件 数	4	51	61	17	1	5	1	2	6	2	0	150

第8-6表

文化財の公開

展 示 会 の 名 称	公開期間	公開会場
特別展 「中国 美の十字路展」	4.15～6.18	東北歴史博物館
特別展 「熊野信仰と東北・名宝でたどる祈りの歴史」	7.29～9.10	東北歴史博物館
特別展 「とつげき！おもしろ博物館」	9.26～2.4	東北歴史博物館
常設展 「民俗・民芸資料」「コレクション」「美術工芸・歴史資料」	通 年	東北歴史博物館

3 文化財保護事業に対する助成等

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-7表

平成18年度国庫補助事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 者 名	総 事 業 費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金等	市町村費等	所有者負担金
洞口家住宅附表門建造物保存修理	洞口京一	18,570	15,784	1,393	1,253	140
里浜貝塚保存管理計画策定	東松島市	2,215	1,000	400	815	-
山王圀遺跡保存修理	栗原市	27,025	13,500	5,400	8,125	-
里浜貝塚保存修理	東松島市	27,657	13,500	5,400	8,757	-
松島四大観音堂保存修理	大仰寺	9,893	4,700	1,880	-	3,313
仙台城跡保存修理	仙台市	14,300	7,150	-	7,150	-
齋藤氏庭園保存修理	齋藤武子	3,000	2,100	450	-	450
仙台藩花山村寒湯番所跡保存修 (災害復旧)	栗原市	7,470	5,229	896	1,345	-
市内遺跡発掘調査等	大崎市	10,500	5,250	2,100	3,150	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	56,427	27,745	-	28,682	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,223	1,100	440	683	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	3,000	1,500	600	900	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	3,000	1,500	600	900	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	18,000	9,000	2,600	6,400	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	7,000	3,500	1,400	2,100	-
町内遺跡発掘調査等	亘理町	4,800	2,400	960	1,440	-
埋蔵文化財保存活用整備	多賀城市	125,000	62,500	8,000	54,500	-
里浜貝塚埋蔵文化財保存活用整備	東松島市	5,045	2,500	1,000	1,545	-
多賀城跡附寺跡指定文化財管理	多賀城市	208	166	-	42	-
第53回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸展仙 台展実行委員会	3,152	1,496	-	-	1,656
文化財選定保存技術(石盤葺)伝承	佐々木信平	1,126	1,106	-	-	20
仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査	仙台市	5,103	2,551	-	2,552	-
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	250,000	200,000	8,000	42,000	-
里浜貝塚買上げ(直接買上げ)	東松島市	47,996	38,295	2,400	7,301	-
陸奥国分寺跡買上げ (先行取得償還～16年度分)	仙台市	641,982	513,580	-	128,402	-
陸奥国分寺跡買上げ (先行取得償還17年度分)	仙台市	18,672	14,937	-	3,735	-
多賀城跡附寺跡保存修理	宮城県	11,000	5,500	5,500	-	-
カモシカ食害対策	宮城県	2,000	1,333	667	-	-
県内遺跡発掘調査等	宮城県	26,430	13,215	13,215	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,608	2,304	2,304	-	-
計		1,357,402	974,441	65,605	311,777	5,579

(2) 史跡の環境整備事業

公有化した史跡が社会教育・学校教育などに有効に活用され、愛護されるためには、史跡の特性を十分に生かして復元するという適切な環境整備がなされなければならない。このことによってはじめて史跡の意義が理解され、広く県民に活用されるものである。平成18年度は、特別史跡多賀城跡附寺跡等の環境整備を行った。

(3) 史跡の公有化

県内には貴重な遺跡が多数存在している。その中でも特に重要な遺跡については、史跡として国指定を図り公有化を推進している。平成18年度は、前年度に引き続き特別史跡多賀

城跡附寺跡（多賀城市）及び史跡陸奥国分寺跡（仙台市）の公有化を実施した。

なお、公有化後は環境整備を行い史跡公園として一般に開放する。

(4) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する特別調査を実施した。

(5) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8 - 8表

平成18年度県費補助事業

(単位：千円)

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳			
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担	
有形文化財	県指定	陸奥国分寺薬師堂仁王門保存修理	22,332	10,000	5,000	7,332	
		陽徳院霊屋保存修理	26,125	2,500	-	23,625	
無形文化財	国指定	精好仙台平技術伝承者養成	308	160	100	48	
		正藍染伝承者養成	450	160	95	195	
		柳生心眼流甲冑術・甲冑柔術伝承者養成	426	160	90	176	
		日本刀鍛錬技術伝承者養成	536	160	-	376	
無形民俗文化財	国指定	秋保の田植踊保持	216	30	60	126	
		秋保の田植踊保持	186	30	60	96	
		秋保の田植踊保持	201	30	60	111	
		小迫の延年保持	230	30	171	29	
		米川の水かぶり保持	487	30	108	349	
		羽田のお山がけ保持	176	30	23	123	
		雄勝法印神楽保持	265	30	25	210	
		月浜のえんずのわり保持	140	30	-	110	
		県指定	大崎八幡宮の能神楽保持	963	30	115	818
			愛子の田植踊保持	140	30	60	50
			大倉の役人田植踊保持	376	30	155	191
			新川の田植踊保持	167	30	60	77
			芋沢の田植踊保持	138	30	60	48
	下倉の田植踊保持		137	30	60	47	
	川前鹿踊・川前剣舞保持		279	30	60	189	
	福岡の鹿踊・剣舞保持		117	30	60	27	
	滝原の鬨拝保持		149	30	60	59	
	上谷刈の鹿踊・剣舞保持		176	30	60	86	
	鹽竈神社 藻塩焼神事保持		537	30	-	507	
	熊野堂神楽保持		114	30	36	48	
	道祖神神楽保持		224	30	36	158	
	熊野堂舞楽保持	114	30	36	48		
	富谷の田植踊保持	81	30	47	4		
	金津の七夕保持	356	30	50	276		
	青葉の田植踊保持	84	30	30	24		
	米倉鹿嶋神社の献饌行事	160	30	-	130		
小野田の田植踊保持	173	30	27	116			
中新田の虎舞保持	457	30	331	96			

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳		
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担
無形民俗文化財	薬菜神社三輪流神楽保持	薬菜神社三輪流神楽保存会	230	30	27	173
	柳沢の焼け八幡保持	柳沢若者講	134	30	19	85
	小泉の水祝儀保持	小泉契約講	74	30	19	25
	切込の裸カセドリ保持	切込誘和会	67	30	19	18
	駒形根神社の巡幸神事保持	お駒様御巡幸保存会	60	30	-	30
	一迫町鹿踊保持	真坂鹿踊保存会	108	30	19	59
	一迫町鹿踊保持	清水目鹿踊保存会	209	30	19	160
	登米能保持	登米謡曲会	2,349	30	80	2,239
	日高見流浅部法印神楽保持	日高見流浅部法印神楽保存会	158	30	38	90
	上町法印神楽保持	上町法印神楽保存会	2,769	30	-	2,739
	気仙沼市早稲谷の鹿踊保持	早稲谷鹿踊保存会	350	30	23	297
	新城の田植踊保持	新城の田植踊保存会	139	30	23	86
	廿一田植踊保持	廿一田植踊保存会	330	30	23	277
	入谷の祭りと打囃子保持	入谷の祭りと打囃子を伝承する会	74	30	-	44
	牡鹿法印神楽保持	牡鹿法印神楽古実会	201	30	18	153
	皿貝法印神楽保持	皿貝法印神楽保存会	121	30	25	66
	名振のおめつき保持	雄勝町名振秋葉神社氏子会	337	30	25	282
	寺崎の法印神楽保持	寺崎の法印神楽保存会	568	30	30	508
	檜崎法印神楽保持	檜崎法印神楽保存会	244	30	30	184
	江島法印神楽保持	江島法印神楽会	208	30	140	38
有形文化財 2 件，無形文化財 4 件，無形民俗文化財 4 8 件			65,750	14,580	7,712	43,458
計 5 4 件						

第 2 節 東北歴史博物館

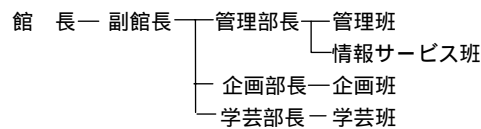
1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

開館 8 年目の平成 18 年度は、入館者数も累計 100 万人を超え、地域の期待に応えるために、企画展示活動、教育普及活動、歴史資料収集管理及び調査研究などの主要事業を積極的に進めた。

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

(決算)	
項目	金額(千円)
管理経費	427,792
企画展示費	54,793
教育普及費	1,698
調査研究費	3,751
資料管理費	6,514
合計	494,548

3 事業

(1) 企画展示事業

ア 常設展示

総合展示室において、約 3 万年前の後期旧石器時代から 1965(昭和 40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について

て、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約 1400 点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置して分かりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室 1 で「信仰の切り紙」「郷土玩具の世界」を、展示室 2 で「骨角器の世界」「杉山コレクション刀装具」を展示した。また、展示室 3 では「東北の古文書 - 宮城に残る白河文書 - 」をはじめ 6 回の展示替えを行なった。

イ 特別展示

・特別展「シルクロードの国宝 - 中国 美の十字路」を開催した。

会 期：平成 18 年 4 月 15 日～ 6 月 18 日

関連行事：講演会「シルクロード

はるかなる風景とその魅力」

講 師 写真家 佐藤 博信 氏

期 日 平成 18 年 4 月 23 日

・講演会「シルクロードと古代日本」

講 師 東北歴史博物館長 工藤 雅樹

期 日 平成 18 年 5 月 28 日

・演奏会「馬頭琴が奏でるシルクロード」

演奏者 アナンディン・バヤラト

唄・踊り サローラ

期 日 平成 18 年 5 月 14 日

観覧者：38,992 人

・巡回特別展「熊野信仰と東北

- 名宝でたどる祈りの歴史 -」を開催した。

会 期：平成 18 年 7 月 29 日～9 月 10 日

刊行物：特別展図録「熊野信仰と東北」

関連行事：・講演会「熊野三山の歴史と信仰」

講 師 日本宗教民族学会代表 鈴木昭栄氏

期 日 平成 18 年 8 月 6 日

・絵解き実演「熊野観心十界曼荼羅図および
那智参詣曼荼羅図の絵解き」

講 師 和歌山県新宮市教育委員会

学芸員 山本殖生氏

期 日 平成 18 年 8 月 5 日

・芸能実演「宮城県名取市高館熊野堂神楽」

実 演 熊野堂神楽保存会

期 日 平成 18 年 8 月 20 日

・芸能実演「岩手県宮古市黒森神楽」

実 演 黒森神楽保存会

期 日 平成 18 年 8 月 27 日

・熊野信仰ゆかりの地の小学生交流会

参加者 石巻市立寄磯小学校および村田町立

村田第四小学校の児童および関係者

内 容 神楽および熊野神社等の地元文化

資源調べ学習の発表

観覧者：11,498 人

・特別展「とつげき！おもしろ博物館～むかしのくらしをたんけんしよう～」を開催した。

会 期：前期 平成 18 年 9 月 26 日～11 月 26 日

後期 平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 2 月 4 日

関連行事：歴史体験教室「縄文時代のくらし」ほか 8 テーマ

期 日 平成 18 年 10 月 22 日ほか隔週日曜日

観覧者：11,431 人

(2) 教育普及事業

ア こども歴史館の運営

利用者数 30,743人(小・中学校・高校の利用数 延べ295校)

イ 図書情報室の運営 利用者数 6,889人

ウ 今野家住宅の運営 利用者数 31,250人

エ 講座等の行事

行 事 名	回数	参加数 (人)	備 考
館長講座	20	4,420	テーマ「平泉への道」月 2 回開催
博物館講座	19	536	古文書、史料講読、びじろいワラ-
体験教室	2	23	縄文土器、トンボ玉
ギャラリートーク	42	630	週 1 回水曜日、学芸員
多賀城跡巡り	14	126	月 2 回(4 月～10 月)
民話を聞く会	3	133	多賀城民話の会と共催
体験イベント	2	2,495	春と秋 年 2 回開催
博物館開放講座	4	168	テーマ「地震、社会を揺らす-地震災害と民衆-」

オ 広報と刊行物

『東北歴史博物館 平成17年度年報』

『東北歴史博物館研究紀要 8』

『催事カレンダー(4月～6月, 7月～9月, 10月～12月, 1月～3月)』

(3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関する考古資料・文書資料・民俗資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

ア 考古資料の調査研究

寄贈された杉山コレクション・楠本コレクションの資料を対象として実施した。うち、杉山コレクションについては、古墳時代関係資料のうち埴輪を対象として実測など詳細な調査及び比較研究を行い、その成果を研究紀要に掲載した。楠

本コレクションについては、資料の整理・修復・実測を継続中である。

イ 民俗資料の調査研究

館蔵資料の整理研究として宮城県及び東北地方の民族資料を調査した。また、東北地方信仰伝承の調査研究として桃生郡の調査及び牡鹿郡の補足調査を実施した。

ウ 文書資料の調査研究

昨年度以前に収集したもののうち、未整理文書・資料群の整理とともに県図書館移管文書の整理を行った。未整理文書・資料群の整理については、博物館準備室収集資料についての本格的整理に着手し、「永岡家資料」などについて整理を完了させた。

エ 美術工芸資料の調査研究

館蔵資料の調査研究として、仙台四大画家のうち東東洋について調査研究を行った。仏教文化及び美術研究に関する調査研究としては、熊野大社(山形県南陽市)及び角田地区等の信仰拠点調査を行った。

オ 建造物資料の調査研究

県内に残る明治期の養蚕建築(住宅)の調査を行った。南三陸町では、実測調査のほかに地区内及び近隣地区の踏査も行った。また、近代建築資料調査として、監獄建築調査に関するとりまとめを行い、その一部を研究紀要にて発表した。

(4) 資料管理事業

ア 実物収集

当館では、考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、7万件を超える実物資料を収蔵している。平成 18 年度の購入資料としては、山屋敷象眼罽 2 点、山屋敷象眼燭台 3 点等がある。

寄贈資料としては、松島真景図巻 1 点、加川仁一家旧蔵資料 1 1 点等がある。

イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料についてフィルムやプリントの形態で約 6 万 6 千件を収蔵している。

ウ 図書資料

当館の所蔵している図書資料の総数は約 89,000 冊で、そのうち約 8,000 冊を図書情報室に開架式で配架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、所蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

エ 資料の貸出、閲覧、撮影、借用等

実物資料については、展示や資料の調査等を目的に 2 7 件 527 点の館外貸出を行った。また、写真資料の貸出(掲載)・再掲載が 39 件あった。

オ 資料管理

絵画資料のうち、雲居希膺筆「初祖提達磨大師」(一幅)、酒井忠発筆「山水図」(一幅)、菅井梅閑筆「棕欄図」(一幅)の修復を行った。また、古文書については、石母田家文書のうち、破損の著しい 63 点及び絵図資料 2 点を対象に裏打ちなどの修復を行った。

カ 科学的保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、山王遺跡・市川橋遺跡等から出土した木製品 162 点、一本柳遺跡・名生館遺跡等から出土した金属製品 90 点の保存処理を実施した。

キ 保存環境管理・調査

資料の保存処理及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査・研究を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査を実施している。このほか、歴史資料の虫や黴の被害対策として実態を調査し、燻蒸消毒を行った。

平成18年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	26	13,054
5月	26	26,321
6月	26	25,919
7月	27	7,869
8月	27	11,457
9月	27	10,855

10月	27	8,685
11月	26	6,955
12月	24	3,086
1月	24	3,590
2月	16	2,868
3月	27	3,232
計	303	123,891

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院である多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされるほどの重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

(1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

(2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

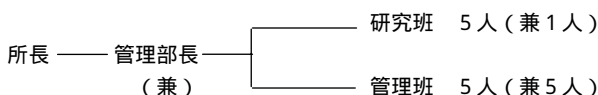
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

(4) 遺構調査研究事業

古代の城柵官衙遺跡についての資料を全国的な視野で収集し、調査研究する。

2 組織・予算

(1) 組織



なお、当研究所では第8-9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

第8-9表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学大学院教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学大学院教授	古代史学
委員 飯淵 康一	東北大学大学院教授	建築史学
" 井手 久登	東京大学名誉教授	緑地学
" 進藤 秋輝	前東北歴史博物館副館長	考古学
" 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学

"	田辺 征夫	独立行政法人文化財研究所理事 奈良文化財研究所長	考古学
"	近江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
"	平川 南	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館長	古代史学
"	進士五十八	東京農業大学教授	造園学

(2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費	16,610千円
イ 多賀城跡環境整備事業費	11,000千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	4,152千円
(以上、50%国庫補助事業)	
エ 遺構調査研究費	157千円
オ 管理費	440千円

3 平成18年度事業の概要

(1) 多賀城跡発掘調査事業

平成18年度は多賀城跡発掘調査第8次5カ年計画の3年度にあたり、城前地区において第78次調査を実施した。発掘調査面積は合計2,600㎡、調査期間は平成18年5月11日～平成18年11月30日である。総事業費は16,610円(50%国庫補助)である。

ア 第78次調査の目的

第78次調査は今後行われる環境整備事業に先立ち、過去の調査結果を補強、再検討することを主目的に多賀城政庁中央地区、政庁南面地区、城前地区の3地区を対象に実施した。

イ 第78次調査の成果

政庁中央地区の調査では、遺構面が畑の耕作で削平され、古代に遡る遺構は残存していないことがわかった。

政庁南面地区の調査では、政庁遺構期の第期の整地層南端で石垣状の土留め施設を発見した。また第期の整地層を確認し、政庁南西の整地が段階的に拡張されたことを再検証した。

今回の主要な調査となった城前地区の調査では、政庁と外郭南門を結ぶ城内道路跡を検出し、第期の路幅約13mの段階と、第期の路幅約23mに拡張された段階の二時期にわたる道路跡の変遷を確認した。なお、この道路跡は11世紀後半代以前に廃絶したこともわかった。

また、城前地区調査区東側の丘陵上の調査では、城前地区に設置された古代の官衙のほぼ全貌を把握することができた。調査で解明された城前地区官衙の建物配置を詳しく見ると、宝亀11年(780)の伊治皆麻呂の乱の火災の前後で大きく変化していることがわかった。まず、火災前の官衙の建物配置は、南北に廂の付く東西棟の建物を中心とし、その北側の広場を囲むように南北棟を東西対称に配列した企画的な構成をとる。柱筋の揃え方や間隔等の計画性も高く、立地とあわせて政庁に次ぐ重要な官衙と考えられた。一方、火災後の官衙の建物配置は、中心建物の周りに種類ごとに建物を配置した官衙で、建物の数や多様性、配置の仕方からみて実務性の強い官衙と考えられた。

ウ 第78次調査の意義

第78次調査の調査では、多賀城跡の正面の復元整備を進める上

で欠かせない有意義な成果を多く得ることができた。これらの成果は、多賀城跡環境整備事業第8次5カ年計画の4・5年次（平成20・21年度）で予定している政庁地区再整備や、第9次5カ年計画で予定している政庁と外郭南門を結ぶ城内道路跡の整備計画に盛り込まれることになる。

(2) 多賀城跡環境整備事業

平成18年度は第8次5カ年計画の2年度にあたり、外郭北辺北東隅（多賀城市市川字大久保地内）の再整備を実施した。総事業費は11,000千円（国庫補助50%）である。

基盤整備工

平成2年に設置した木道等の腐朽・破損が進んだため、その撤去・運搬を行った。

園路広場工

上記木道等の代替施設として、枕木舗装及び枕木階段を設置した。

自然育成工

来場者にその高まりを見ていただけるよう、外郭築地跡上の間伐および下草刈りを行った。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成18年度は第7次5カ年計画の3年度にあたり、大崎市田尻に所在する木戸窯跡群の第3次調査を実施した。調査はB・C地点の2カ所を対象に実施し、発掘調査面積は1300㎡である。調査は大崎市教育委員会と共催で行っている。総事業費は4,152千円（50%国庫補助）である。調査の内容は次のとおりである

ア 調査の成果

木戸窯跡群は多賀城跡創建期の瓦と須恵器を生産した窯跡として周知されている。B地点とC地点の2カ所に調査区を設け、B地点で3基、C地点で4基の多賀城創建期の瓦窯跡を発見し精査した。また、C地点では窯跡と同時期の竪穴住居跡1軒も発見し、居住域・工房・窯跡からなる遺跡の構成の一端を把握することができた。

イ 調査の意義

調査の結果、木戸窯跡群B・C地点の窯構造と須恵器及び瓦の内容を知る上で良好な資料を得た。3年次にわたる調査で、これまで不明確であった窯跡群の分布と構成が把握されるようになった。

(4) 遺構調査研究事業

本事業は多賀城跡及び関連遺跡の発掘調査によって検出した諸遺構の保存と活用を目的として、他遺跡の類例と比較検討しながら基礎的研究を行うものである。

本年度は滋賀県近江国庁跡、京都府隼上り窯跡、山形県高安窯跡群、宮城県亘理町三十三間堂官衙遺跡、仙台市堂庭山廃寺、大崎市名生館官衙遺跡、同新田柵跡推定地、色麻町日の出山窯跡、加美町早風遺跡、同壇の越遺跡、栗原市伊治城跡の調査データを収集した。さらに従来収集した各地のデータを整理し比較と検討を行った。

(5) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。しかし、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。平成18年度における現状変更申請は7件あった。その内容は次のとおりである。

民間工事1件 - 擁壁設置工事（1）

公共事業6件 - 上下水道整備関連工事（2）

公園整備関連工事（3）

消防施設設置工事（1）

このうち擁壁設置工事と消防施設設置工事の2件については掘削を伴う工事であるため、平成19年度に対象地の確認調査を実施し、対応を協議する予定である。他の5件については史跡への影響は軽微であると判断されたため、工事立ち会いとした。

(6) その他

ア 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会を開催した。

木戸窯跡群第3次調査

平成18年7月8日 天野順陽

多賀城跡第78次調査

平成18年10月21日 小井川和夫・阿部恵

古川一明・吉野 武

イ 各委員会などへの協力

小井川和夫 胆沢城跡整備指導会議 秋田市秋田城跡環境整備指導委員 払田柵跡保存管理計画策定指導委員
盛岡市志波城跡整備委員 仙台市郡山遺跡発掘調査指導委員 多賀城市環境審議委員 大崎市名生館官衙遺跡発掘調査・環境整備指導委員 角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員 古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人

古川一明 高清水町史編さん委員

吉野 武 青森県史編纂古代部会調査研究員

ウ 発掘調査・講演会などへの協力

吉野 武

・「多賀城跡第77次調査の概要」多賀城市遺跡調査成果講演会 多賀城市文化センター 平成18年7月1日

古川一明

・「宮城県の横穴墓」東松島市文化財フォーラム 平成18年8月6日

吉野 武

・「多賀城跡-近年の調査成果から-」多賀城市文化財講演会 平成18年12月20日

エ 研究発表・執筆など

吉野 武

・「壇の越遺跡」『木簡研究』第28号 平成18年11月25日
天野順陽

・「木戸窯跡群第3次調査の概要」平成18年度宮城県遺跡調査成果発表会 東北歴史博物館 平成18年12月10日

吉野 武

・「多賀城跡第78次調査の概要」平成18年度宮城県遺跡調査成果発表会 東北歴史博物館 平成18年12月10日

天野順陽

・「木戸窯跡群第3次調査の概要」第33回古代城柵官衙遺跡検討会 南相馬市 平成19年2月17日

吉野 武

・「多賀城跡第78次調査の概要」第33回古代城柵官衙遺跡検討会 南相馬市 平成19年2月17日

オ 連携大学院

東北大学大学院文学研究科長と宮城県多賀城跡調査研究所長の協定に基づき、文学研究科文化財科学専攻の大学院生の研究と指導にあたった。

小井川和夫（客員教授）

・文化財科学研究演習 「史跡の保存整備と活用（1）」

・文化財科学研究演習 「史跡の保存整備と活用（2）」

・課題研究

古川一明（客員助教授）

- ・文化財科学研究実習 「発掘調査の実際」
- ・課題研究

カ 研究成果刊行物

『宮城県多賀城跡調査研究所年報2006-多賀城跡第78次調査-』
平成19年3月

『木戸窯跡群 』多賀城関連遺跡発掘調査報告書第32冊
平成19年3月